

時局

5

2020
630yen

http://www.jikyokusya.com

松下幸之助直伝／経営者心得帖 江口克彦
雰囲気のある自分づくり

寺脇研が見つめる社会の交差点▲
学年末の学校に降りかかった「青天の霹靂」

妹尾教授の「ビジネス探訪」
「グズの大忙し」と「サントリ症候群」

海外旅行評論家・切手評論家・写真家 平岩道夫

アフリカに教えられた「ポレポレ」という生き方

「Hoppers」大垣精工会長 上田勝弘

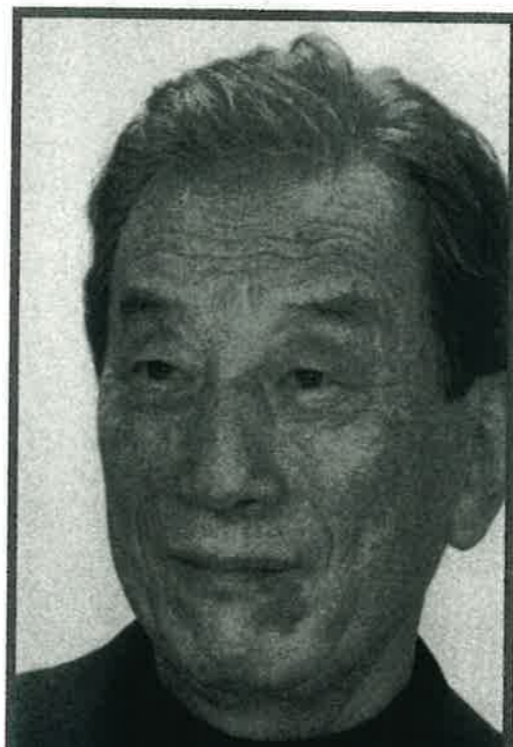
超精密加工は「日本人気質」の天職

須田慎一郎の時事コンパス

1年限定の「消費税率0%」へ舵を切れ

私論輿論 榊原英資

新型コロナウイルス不況



黒山 清

日本人に欠けがちな

外から自国を見る視点

- 加瀬英明のグローバルEYE
コロナ危機から国民を守れない日本の「平和憲法」
- 三橋貴明の経世論
「令和恐慌」始まる

ZIP-FMが大幅改編 生活情報発信にも力点

ZIP-FM(名古屋市中区)は4月から、夕方から夜を中心に番組全体の約57%を改編。「街に広く、人に深く、もつと伝わるラジオステーションへ」をスレーション・コンセプトに据え、音楽中心のメディアからライフスタイル提案型メディアへの進化を目指す。

それに伴い、従来ミュージック・ナビゲーターとしていた同局ラジオパーソナリティーの呼称を、ナビゲーターに改めた。

意識したのはラジオ聴取者を増やすための若いリスナーの掘り起こしだ。開局以来、日本の音楽シーンをリードしてきた同局だが、「音楽だけでは今の若い世代をラジオに引き付けられない」(稲葉功社長)と、音楽コンテンツに加え、東海地域に根差したさまざまな情報も発信。また、新番組では番組ごとのコンセプトを明確化した。

カビ対策事業の「せら」が新型コロナウイルス感染対策 除菌・洗浄サービスの提供を開始

独自開発の「MIST工法」による建物のカビ取り、カビ対策を手掛けるせら(名古屋市西区)は、新型コロナウイルス感染対策として、企業や病院、介護施設のほか、不特定多数が利用する施設、大型船舶などでの除菌・洗浄サービスを開始した。

MIST工法は、次亜塩素酸ナトリウムや消毒用エタノールなどを用いて、素材を傷つけず、短期間で、カビ取り、カビ予防を実現する工法で、これまで、一般住宅はもちろん、病院や国宝寺院などで採用されてきた。優れた施工と丁寧で迅速な対応が高く評価され、カビ除去以外に、病院施設の無菌室の施工実績も持つ。

同社は新型コロナ感染が広がり始めた当初、除菌・洗浄サービスの提供に難色を示していた。世良秀雄社長は「エビデンスのある適当な対策や治療薬がない以上、従業員などへの感染や風評被害などのリスクを考えた」と、その理由を明かす。しかし、除菌や洗浄が可能な多くの事業者が、同様に難色を示している状況を見かね、「誰かがやらなければ」とサービスの開始を決意した。

厚生労働省の施設等機関である国立感染症研究所が3月19日の時点で、新型コロナ感染者が発生した施設での対策として公表している内容は、0.05%の次亜塩素酸ナトリウムと70%の消毒用アルコールを使った清掃。MIST工法ではより濃度の高い次亜塩素酸ナトリウムと消毒用アルコールを使用しており、施工も、紹介されている清掃方法に比べ、はるかに念入りだという。

同社では服装以外の道具や材料はすべてそろっており、すでに使い捨ての特殊な防護服の準備を始めている。

世良社長は「自社の従業員やグループ企業などで感染者が出ないよう最大限の注意を払いつつ、実際に感染者が発生した施設などのほか、不安がある場合でもサービスの提供を行い、一連の事態の沈静化に少しでも貢献したい」と力を込めた。

◆問い合わせは同社まで ☎052・532・1200 <https://sera.jp/>

さらに次世代リスナー獲得策として、高校生をターゲットにユーチューブ専用番組の配信を試みるほか、SNSとの連動も本格化させる。

「ほほほ」2号店が
星が丘テラスにオープン

シルク雑貨ブランド「絹屋や、

すべてこブランド「涼綿」、高品質なバジヤマブランド「Kinne 1(キネル)などを展開する大酬(名古屋市北区)は3月1日、ショッピングモール星が丘テラ